

JAMA電子情報フォーラム2018

ビジネスシステム(BS)部会 活動概要

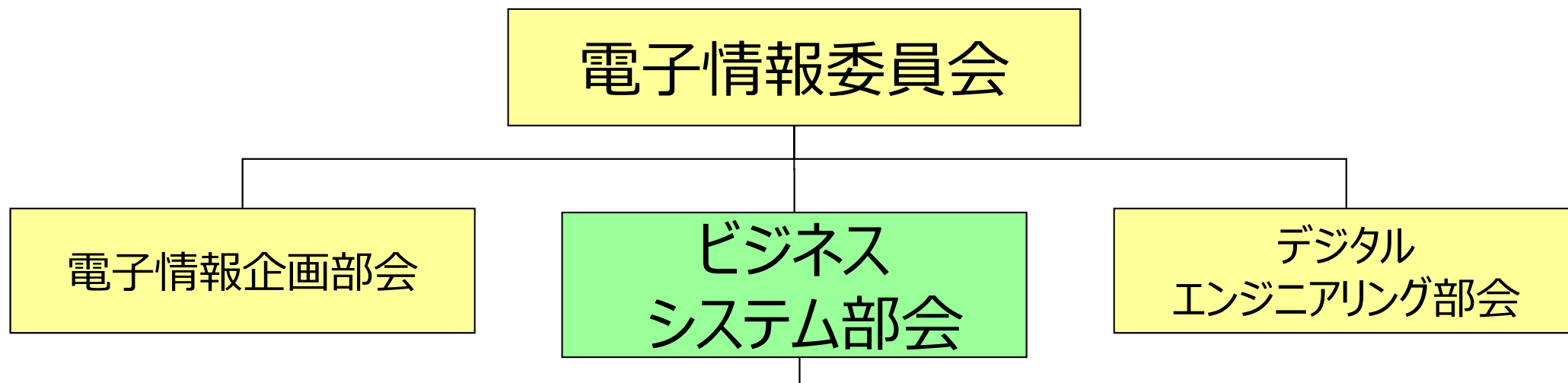
一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会
ビジネスシステム部会
部会長：小山幸雄

2018年2月16日

- 1 ビジネスシステム部会の役割と体制
- 2 ビジネスシステム部会の歴史
- 3 ビジネスシステム部会活動実績（2014年度～2016年度）
- 4 ビジネスシステム部会の活動（2017年度～）

1 - 1. ビジネスシステム部会の役割



<役割> ビジネス分野における電子情報の標準化推進

○ビジネス関連プロセスやツールなどの標準化検討・推進

- ・ビジネス系IT分野の調査・研究
- ・自動車業界IT標準の改善・普及

○国際協調、グローバル標準の検討・推進

- (注)・欧州 (Odette)、米国 (AIAG) と合同フォーラム (JAIF) で協議
- ・国際会議 (Odette Conference等) への参加、現地動向調査

(注)

Odette : Organization for Data Exchange by Tele-Transmission in Europe

AIAG : Automotive Industry Action Group

JAIF : Joint Automotive Industry Forum

1 - 2. ビジネスシステム部会の体制 (2017)

ビジネスシステム部会

[部会長] トヨタ
[副部会長] 日産 ホンダ
マツダ

部会方針決定、OEM14社参画

BS統括分科会

部会の方針案検討、標準維持・管理、
国内外情報交換

[分科会長] 日産
[副分科会長] マツダ

NextEDI-WG

次期EDI標準策定に向けた調査/検討

[主査] ホンダ

(注)

AIDC-WG

自動認識ガイドライン作成・維持・普及

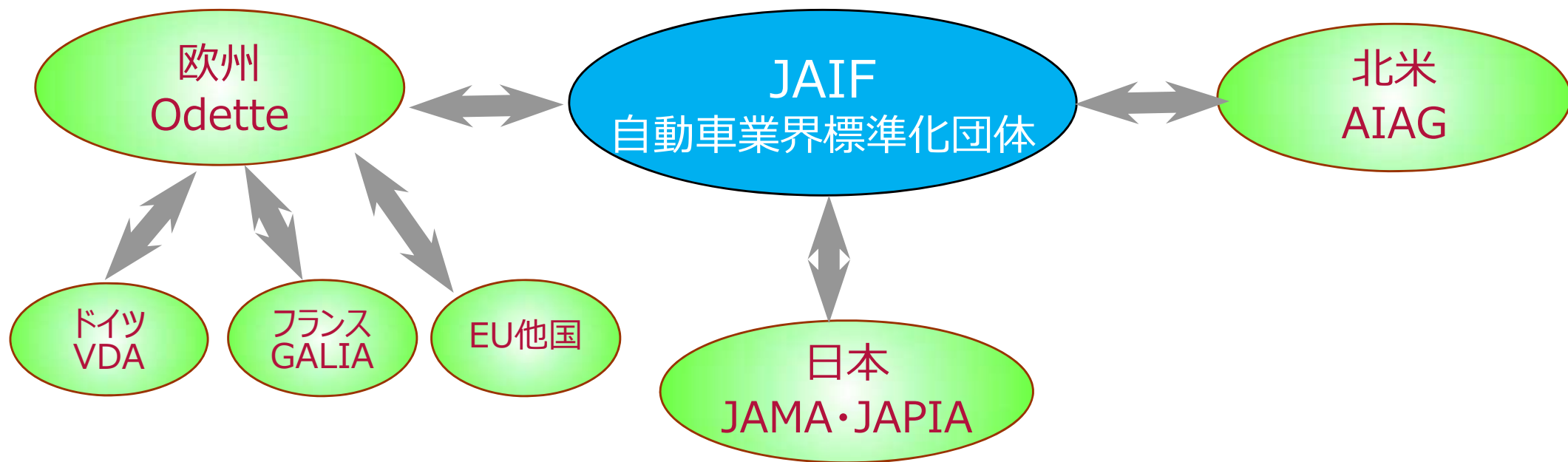
[主査] ヤマハ

(注)

AIDC : Automatic Identification and Data Capture

1-3. 国際協調活動体制 (ビジネスシステム関連)

- 日米欧自動車業界のITビジネスシステム部門の合同フォーラムであるJAIFで標準化を検討



VDA : Verband der Automobilindustrie e.V.
(ドイツ自動車工業会)

GALIA : Groupement pour l'Amelioration des
Liaisons dans l'industrie
Automobile
(フランス自動車工業会)

JAMA : Japan Automobile
Manufactures Association
(日本自動車工業会)

JAPIA : Japan Auto Parts
Industries Association
(日本自動車部品工業会)

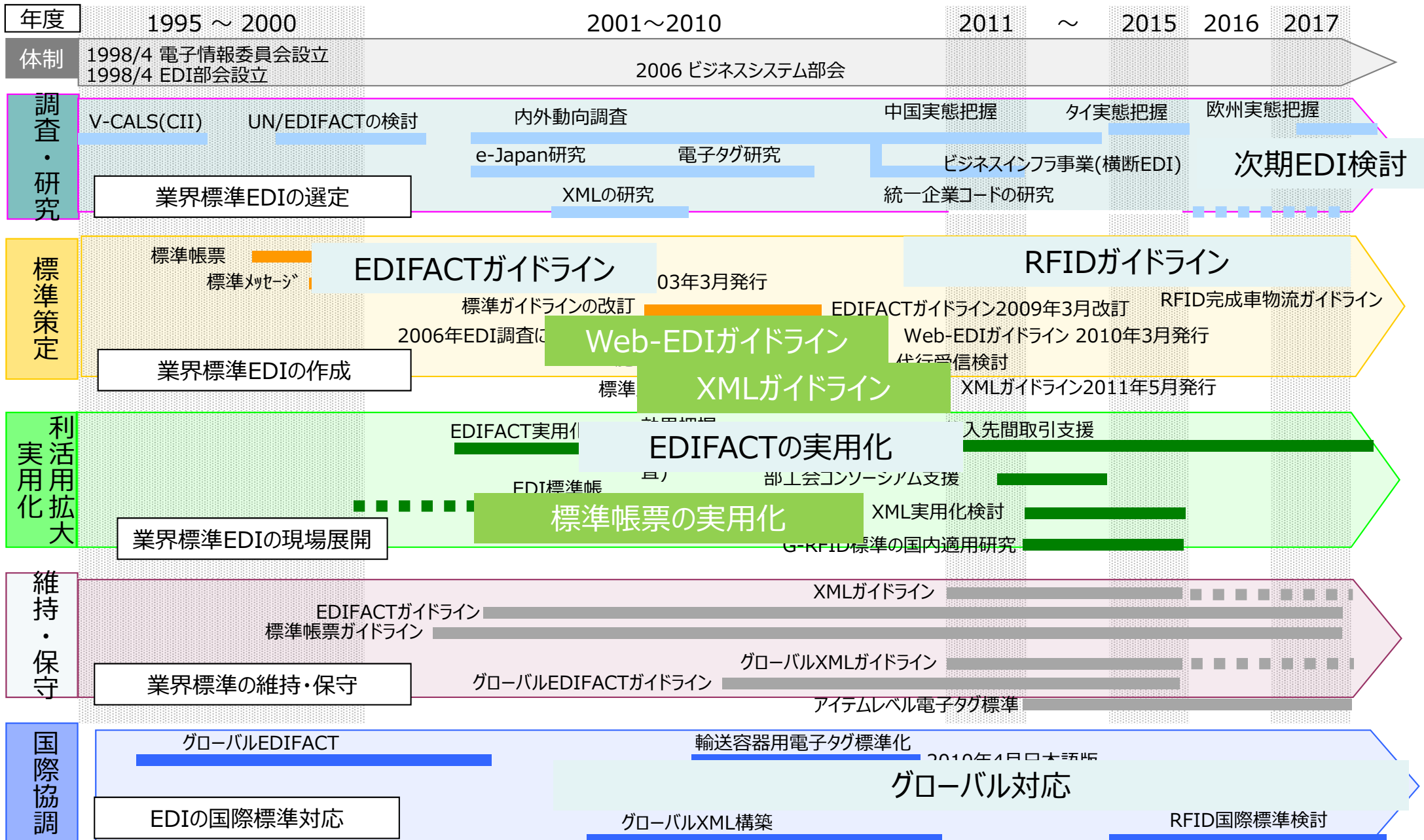
- 1 ビジネスシステム部会の役割と体制
- 2 ビジネスシステム部会の歴史
- 3 ビジネスシステム部会活動実績（2014年度～2016年度）
- 4 ビジネスシステム部会の活動（2017年度～）

2-1. ビジネスシステム部会の歴史（概要）

自工会では90年代前半にEDI標準化検討を開始し、98年電子情報委員会EDI部会を設立。06年にはビジネスシステム部会となりEDI標準化、個品識別（AIDC）、国際協調等の活動を推進。

年代	1994年～	1998年～	2006年～
体制	EDI標準化 検討会	電子情報委員会 EDI部会	電子情報委員会 ビジネスシステム部会
EDI 標準 化	・自動車業界EDI 標準選定	<ul style="list-style-type: none"> ・EDIFACTを業界標準に決定（2000年） ・導入開始（2003年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・EDIFACT普及促進セミナー ・中小企業EDI化促進検討 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界次期EDI検討（2014年～）
AIDC			<ul style="list-style-type: none"> ・電子タグ研究開始（2006年） ・グローバルRFIDガイドライン検討 <ul style="list-style-type: none"> ・JAIFでRFID6bitを標準（2011年）
国際 協調		・Odette Conference参加（1998年～）	・日米欧3極のJAIF発足（2006年）

2-2. ビジネスシステム部会の歴史 (年表)



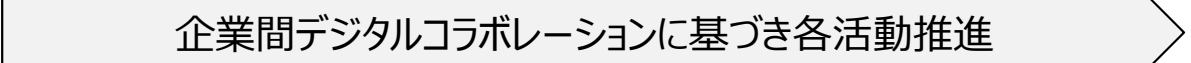
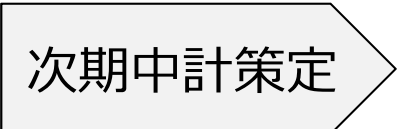
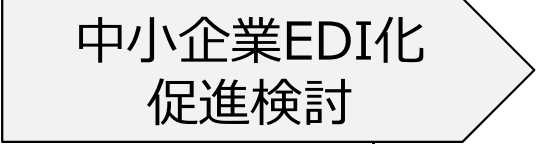


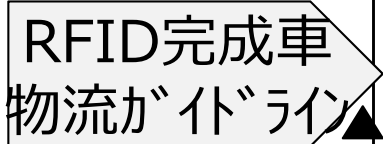
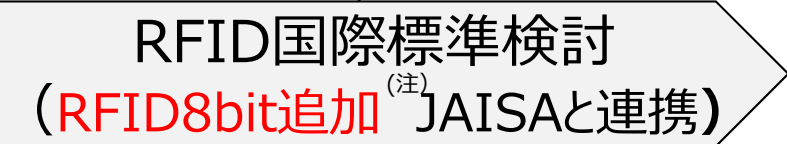
- 1 ビジネスシステム部会の役割と体制
- 2 ビジネスシステム部会の歴史
- 3 ビジネスシステム部会活動実績（2014年度～2016年度）
- 4 ビジネスシステム部会の活動（2017年度～）

3 - 1. BS部会の活動計画（2014年度～2016年度）

・中期方針の企業間デジタルコラボレーションに基づくEDI、AIDCの標準化活動と国際協調活動を推進。

	2014年度	2015年度	2016年度
方針検討/ 見直し	企業間デジタルコラボレーションに基づき各活動推進		
EDI	EDIあるべき姿・方針検討		あるべき姿立案
AIDC	RFID完成車物流 がトライン	体系整理とロードマップ 作成	部品関連AIDC がトライン
国際協調	海外カンファレンスでの情報交換		

3-2. 活動実績と成果 (2014年度～2016年度)

	2014年度	2015年度	2016年度	活動成果	
方針 検討/ 見直し				<ul style="list-style-type: none"> 次期中計（'17～'19）承認 →『つながる枠組』を方針に選定 	
					
EDI			 ▲▲ NextEDI-WG 発足 NextEDI-WG 活動継続承認	<ul style="list-style-type: none"> NextEDI検討開始 →中小企業が容易に利用できる自動車業界標準EDI →EDIFACT以外の選択肢提供 	
AIDC	 ▲ 発行(国内用)			<ul style="list-style-type: none"> 業界RFIDがトライン作成 RFID8bit追加ISO改訂提案 	
国際 協調	▲ 5 JAIF、Odette Conference	▲ 10 タイEDI調査	▲ 12 JAIF、Odette Conference	▲ 2 欧州EDI調査	<ul style="list-style-type: none"> JAIFで日本意見反映 EDI標準化国際動向把握

(注) JAISA : Japan Automatic Identification System Association (日本自動認識システム協会)

- 1 ビジネスシステム部会の役割と体制
- 2 ビジネスシステム部会の歴史
- 3 ビジネスシステム部会活動実績（2014年度～2016年度）
- 4 ビジネスシステム部会の活動（2017年度～）

4 - 1. 課題認識と中期方針

- 災害対策ニーズの高まり
東日本大震災、タイの大洪水、熊本震災など、中小のサプライヤも含めた災害対策のニーズが高まっている。
- 急激な環境変化
IoTの進展に伴い、つながる工場等が現実のものとなる。
情物一致による物流におけるさらなる効率化が求められている。
- 取引形態の変化
グローバル取引増加、OEM間相互供給増加、メガサプライヤによる部品共有化、業際取引増加など、ビジネス変化への対応が求められている。
- 経産省推進施策
経産省が進める「中小企業のEDI化促進」に対しても考慮が必要となっている。

上記を踏まえたサプライチェーンの将来形の策定が必要

中期方針：サプライチェーンの『つながる枠組』を定義し活用していく

4-2. 中期活動計画 (2017年度～2019年度)

施策		2017年度	2018年度	2019年度	中期末目標
大分類	中分類				
サプライチェーンの『つながる枠組』を定義し活用していく	『つながる枠組み』検討	パイロットテーマ検討			■ 『つながる枠組み』の要件定義
		スキーム検討	企画	要件定義	
	枠組みコンテンツの標準策定		NextEDIガイドラインの作成	NextEDI機能検証	■ NextEDIガイドライン作成完了
		AIDC輸送容器、部品のガイドライン作成			■ ガイドラインの作成、展開
業界標準の普及/定着化	標準の維持/改定	標準帳票ガイドラインの維持・改訂			■ ニーズに基づく改訂
		EDIFACT/XMLガイドラインの維持・改訂			
		AIDC関連ガイドラインの維持・改訂			
	啓発/広報活動	関連団体との協調による標準普及の定着			■ 標準の普及・啓発
		標準化の発信企画・開催			
国際競争力強化に向けた取り組み	国際標準化	グローバル標準ガイドラインの改訂・維持・管理			■ JAIFでの検討維持・管理
		新規提案に対する検討			
渉外/協調活動	国内外情報交換	海外カンファレンスでの情報交換			■ 海外動向調査継続 ■ 他業界との意見交換
		国内他業界との情報交換			

4-3. 主要テーマの活動実績と計画

- ・中期方針のサプライチェーンの『つながる枠組』の定義、活用に向けて、2017年度よりつながる枠組企画、Next-EDI、AIDCを計画通り推進中

方針		2017年度	2018年度	2019年度
サプライチェーンの『つながる枠組』を定義し活用する	つながる枠組	パイロットテーマ検討 → スキーム検討	企画・設計	要件定義
	Next EDI	NextEDI (WG、OEM) 技術検証		NextEDIガイドライン作成 ▲ 発行
	AIDC	5 ▲ JAIF承認 RFID8bit追加ISO改訂推進		ISO承認
		輸送容器・部品関連AIDCガイドライン		
国際協調	5 ▲ JAIF、Odette Conference 海外カンファレンスでの情報交換			

ご清聴ありがとうございました。

引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を
宜しくお願い致します。